

学修支援のありかたを考える

—ユニバーサルデザインとアクティブ・ラーニングの整合性—

ゆとり教育の影響を巡って議論が交わされる中、結局の所、知識詰め込み型の学修に立ち戻っているのではないかと危惧される今日このごろです。系統主義と経験主義の不毛な対立は、かつても現在も継続しているように思われます。「デジタル・ネイティブ」世代の若者を対象に教育活動を展開するにあたって、解決すべき課題は何であるのか、議論を深めてみようと思います。

お忙しい中とは思いますが、どうぞディスカッションに奮ってご参加下さい。

2018年 **9月27日** (木)

場所: 帝塚山大学 奈良・学園前キャンパス 16号館9階16903教室
(近鉄奈良線「学園前」駅から徒歩2分)

【プログラム】

14:30 受付開始

15:00 開会

ごあいさつ: シンポジウム開催の経緯

15:10 「ICTを活用したアクティブ・ラーニングにおける音読の効果」を発表して
—平成30年度ICT利用による教育改善研究発表会 報告—

柳 元和 人間環境科学研究所 所長

15:30 ユニバーサルデザインの授業づくり

—自分の意志でメッセージを発信するために—

村上 友香 氏(帝塚山中学校・高等学校 情報科 教諭)

16:00 教養科目履修の大学低学年のための「深く考える」技術

—初年次教育の教室と大教室をつなぐ試み—

濱千代 早由美 氏(帝塚山大学 非常勤講師)

16:30 フリーディスカッション

17:00 閉会

◆ 参加申込方法: どなたでも参加できます(参加費無料)

◆ お問い合わせ: Eメール jinkanken@gmail.com 帝塚山大学 柳宛